

峡東圏域サービス事業所連絡会(児童部門) 事業所向け 自己評価表 (令和5年度)

参考⇒放課後等ディサービスガイドライン「事業者向け放課後等ディサービス自己評価表」

事業所名 (ハロハロキッズ )

【7件配布 7件解答】

評価時期 ( 令和5年度 )

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>使用目的に応じて机やいすを寄せスペースを確保している</li> <li>刺激から回避できるように部屋割りで環境設定出来ている</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>人数や個々の特性に合わせて配置している</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリーになっているが、利用者の変化に伴い改善していく可能性もある</li> </ul>
業務改善	④	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ会議、ケース会議を月に一回ずつ行い開示し皆で意見を出し合い目標を考えている</li> </ul>
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートは取っていないが、評価について会議で全員に周知。改善方法を話し合っている</li> </ul>
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年ホームページには公開している</li> <li>事業所の会報がなかなか出すことが出来ていない</li> </ul>
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7		<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者評価機構が山梨県にはなく現時点では受けれていない</li> </ul>

	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>年に5回程度、資質の向上に向けての法人研修会を開催、全員に参加してもらっている</li> <li>外部、内部で研修会がある時は積極的に参加している</li> </ul>
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した計画は自由に観覧できるので隨時確認ができる。</li> <li>常に計画に基づいた支援を心がけるようにしている</li> </ul>
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の状況に応じた情報収集がなされ対応している。</li> </ul>

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>以前は正規職員が立てていたが、今年度から全員にいくつか考えてもらい、実際に活動プログラムに取り入れている</li> <li>会議で新しい活動内容を話し合っている</li> </ul>
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用児の希望（特性・利用曜日等）も加味して普段から綿密な工夫がされていると思う</li> </ul>
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>支援前に打ち合わせ、情報共有をしっかりしている</li> </ul>
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用児の得手、不得手はもちろん、発達状況も考えながらの計画になっていると思う</li> </ul>

岐東圏域サービス事業所連絡会(児童部門)  
事業所向け 自己評価表

	⑯ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・毎回している ・特変がある時はいつも以上に確認を行っている
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		7		・その日の内に打ち合わせはできていない ・情報共有ノート、グループメール等を使いすぐに共有はしている
	⑯ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・担当日の前後のケースを確認できる ・気になる事は申し送り会議等で検証を行っている
	⑯ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・月に1回～2回の会議でモニタリングをしている ・モニタリング会議に出た職員から報告共有がされている
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	2	5		・正直、良く分かっていないので再度勉強会を開いてほしいです
	⑯ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・職員が分担して出席している
	⑯ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・学校もとても協力してくれている ・最新の情報を確認しながら支援にあたっている
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		7		・現在、該当児童がいない

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			・新規の児童がいない ・中途利用の児童については各関係者と情報共有している
	(24)	学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			・学校卒業生がいない ・対象児が出た時は情報提供する準備が出来ている
	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			・研修があれば参加しています
	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		7		・コロナ禍でなかなか機会を作れなかった ・公園や出先で地域の子供達と一緒に遊ぶ機会はあった ・コロナの状況を慎重に考慮して何か機会を考えていきたい
	(27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			・児発管が毎月参加している
	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・連絡帳にはもちろん、保護者へ引き渡しの時にも情報を共有している
	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3		・勉強していきたい
保護者への説明	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・来年度は報酬改定に基づき、より詳しく説明します
	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	3		・すぐに答えられない悩みも多く、一旦職員に預ける事も多い。 ・安易な助言や答えはしないように心がけている

	(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・父母会、保護者会はたちあげていない</li> <li>・今後は感染症に気を付けて保護者の交流する場を作つて行くつもりである</li> </ul>
	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで、苦情は来ていない。これからもし来た際には真摯に受け止めすぐに対応するつもりである</li> </ul>
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の活動プログラムや特別な行事等は発信しているが、会報がなかなか出せていない</li> </ul>

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	(35)	個人情報に十分注意している	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が高い意識を持っている</li> </ul>
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳、メール、電話を使い、意思疎通、情報伝達を行なっている</li> </ul>
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が続いている為、いまだに機会がない</li> <li>・来年度からは感染症感染を慎重に見極めながら機会を模索していく予定</li> </ul>
非常時等の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度はより詳しく説明していく</li> </ul>
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回～2回活動プログラムで避難訓練を行っている</li> </ul>
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内外で研修が開かれるときは積極的に時間を作り、参加している</li> </ul>

(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束が必要となる対象児がない</li> <li>・重要事項説明書には記載されている</li> </ul>
(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの指示の元、個々の注意事項が誰にでもが分かるように事業所内に掲示している</li> </ul>
(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議で必ず行っている</li> <li>・全員で対策を考える時間を作っている</li> </ul>

※ご協力ありがとうございました。